

## 協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。  
 ※帰国後1カ月以内に提出(送信)してください。  
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	フィリピン大学	氏名	
国名	フィリピン	学籍番号	
留学期間	2019年8月～2020年5月	記入年月日	2020年7月22日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: Community Development and Social Work			
科目名	Economics11	科目名	Japan Studies100
授業内容	経済学の基礎を一から学ぶ。基礎知識、ミクロ経済、マクロ経済、グローバル経済という順で扱った。	授業内容	日本の伝統芸能、戦争、政治、地理、言語、宗教について。
授業形式	レクチャーと演習	授業形式	レクチャー(意見や感想を言う機会はある)
単位数	3	単位数	3
サイズ	レクチャー週2、演習週1、合計3時間	サイズ	レクチャー週2(1時間半×2=3時間)
難易度 Course No.	経済科目のうち、最も基礎的な科目	難易度 Course No.	日本人にとっては難しくない
宿題の量	3週に1回程度の練習問題プリント	宿題の量	ほぼない。半年でレポート2回、プレゼン1回。
コメント	レクチャーは90%以上英語で100人以上のクラスを教授が担当、演習はTAの方がそれぞれ10人ほどのクラスを担当し、使用言語はそのTAによって異なる(英語またはタガログ語)。経済学専攻でもなく、数字が弱い私にはハイスピードに感じた。しかし、教授もTAの方も教え方はうまく、フィリピンの実際の問題や現象を例に出して説明してくれる。アポをとれば個別に質問対応も可能、メールでの質問にも丁寧に答えてもらえる。章末テスト4回(月1回程度、計4回)と期末テスト1回。	コメント	留学生のみ10人のため、全て英語。テーマごとに専門の先生が担当。先生ごとに授業スタイルは違うがほぼレクチャー形式。意見や感想、考えを求められることもあった。突然の課外活動が行われたり、通常授業の曜日以外にワークショップが行われることがあった。他にも日帰りのstudy tourが数回あり、体験活動が多かった。実際に、フィリピン大学の学生が街中で行ったデモ活動を見たり、実際にその中に入るという貴重な体験もできた。
科目名	Filipino3	科目名	PE 2 Yoga
授業内容	留学生向けのタガログ語基礎。アルファベットの読み方から始め、自己紹介、簡単な日常会話、単語、数字など。	授業内容	ヨガ
授業形式	レクチャーと会話実践	授業形式	実践。個人でやるものとペアワーク。
単位数	3	単位数	2
サイズ	レクチャー週2(1時間半×2=3時間)	サイズ	週一回2時間
難易度 Course No.	タガログ語の授業の内、最も基礎の授業	難易度 Course No.	基礎レベル
宿題の量	ほとんどない。	宿題の量	ほとんどない。動作の復習、発表の準備程度
コメント	使用言語は英語で、留学生のみ20人ほど。ペアワークなどもあった。初心者しかいないので、かなりゆっくりなペースで進んでいた。筆記テストが二回、スピーキングテストが一回。留学前に少しでもタガログ語に触れておくとつかみやすい。教科書は買わず、全てプリントを使った。	コメント	体育の授業はかなりの種類があるので、1つくらいとればリフレッシュになっていいと思う。30人程のクラスで留学生がそんなに多くないため、現地学生との関わりが多く、友達ができやすい。ヨガでの使用言語はほぼ英語で、時々タガログ語だったが友達に訳してもらった。とても明るくていい先生だったので楽しめた。実技テストが中間と期末にあった。期末はグループで演技を考えて発表するものだった。

科目名	.PE 2 Modern Jazz	科目名	SW130 Social welfare policies, programs, and services
授業内容	ジャズダンス	授業内容	社会福祉に関わる政策、プログラム、サービスについて学ぶ。社会福祉に関する国際的な条約やフィリピンの法律、国家プログラム、ソーシャルワーカーの働きについて。
授業形式	先生1人によるレッスン	授業形式	講義とディスカッション
単位数	2	単位数	3
サイズ	週一回2時間	サイズ	週に2回、一回1時間半
難易度 Course No.	基礎レベル	難易度 Course No.	難しい
宿題の量	ほとんどない。動作の復習、発表の準備程度。	宿題の量	毎回はないが、レポートが課されることがある。
コメント	基礎だったので、ダンスなどの経験があれば難しいことはないと思う。30人程度のクラスで留学生は私を含め、2人だったため現地学生と話す機会が多く楽しめた。使用言語はほぼ英語で、たまに使われるタガログ語は現地学生に訳してもらった。実技テストは3回あり、授業以外の時間に集まって練習した。ジャズの授業の他にヒップホップ、競技ダンス、フィリピン民族ダンスの授業がある。ダンスが好きならおすすめ。	コメント	この科目からCD100は後期に取った科目。12人のクラスで先生はADBで勤務経験のある方。スライドや教え方も分かりやすくおすすめ。私のタガログ語能力が低いため、先生は英語を話してくれたがディスカッションで生徒がタガログ語で意見を言うこともあったので、周りの現地学生に通訳してもらった。地域開発や福祉を法律や条約、国際機関に注目して考えるのは興味深かった。生徒の発言が活発な授業。グループプレゼン一回あり。
科目名	SW110 Critical social work	科目名	CD11 Introduction to community development
授業内容	ソーシャルワークをクリティカルな目線で考え、様々な種類のソーシャルワークについて学ぶ。	授業内容	地域開発について、まずコミュニティとは何か、developmentとは何かという基礎をはじめとして、開発のメソッドやアプローチについて。
授業形式	講義とディスカッション	授業形式	講義とディスカッション
単位数	3	単位数	3
サイズ	週に2回、一回1時間半	サイズ	週に一回、3時間
難易度 Course No.	難しい	難易度 Course No.	難しいが、地域開発の授業の中では最も基礎
宿題の量	毎回はないが、レポートが課されることがある。	宿題の量	毎回はないが、レポートが課されることがある。
コメント	ソーシャルワークについて知識がなかったので難しく感じたが、先生が個別に時間をとって一対一で話せる時間を一週間に一回作ってくれた。メールでの質問にも丁寧に応じてくれ、なんとか乗り越えた。先生はほとんどタガログ語で話していたため現地学生に通訳をお願いした。実際のソーシャルワーカーから話しを聞く機会もありとてもよかった。個人プレゼンが一回あり、内容準備の段階から先生との個人面談がありとても丁寧な指導だった。生徒の発言が活発な授業だった。	コメント	実際にコミュニティでの活動経験豊富な先生で、リアルな話を聞けるためとてもよかった。先生はほとんどタガログ語で話していたためクラスメイトに通訳してもらい理解した。スライドは英語だった。授業中に意見を求められることがよくある。(英語可)また大学内で行われる開発関係の講演会に参加させてもらえた。実際の現場に行き調査して準備する必要があるグループプレゼンが一回ありとてもいい経験だった。
科目名	CD100 Philippines society and community development	科目名	
授業内容	開発分野に関わるフィリピンの歴史的、社会経済的、政治的状況、問題のマクロな分析	授業内容	
授業形式	講義とディスカッション	授業形式	
単位数	3	単位数	
サイズ	週一回、3時間	サイズ	
難易度 Course No.	難しい	難易度 Course No.	
宿題の量	毎週はないが、ペアワークやプレゼンの準備	宿題の量	
コメント	クラス担当教授によって教授法は異なる。このクラスの教授は英語使用で、生徒はタガログ語を使うこともあった。意見を求められることがあり、生徒の発言が活発な授業。スライド(英語)や教え方が丁寧で分かりやすくおすすめ。貧困とは、という基礎からはじめ、社会の状況や問題のある構造の分析方法について様々な視点から学んだ。ロールプレイングやペアワーク、ペアプレゼンが課され、体験を通して学ぶことができ、新鮮だった。	コメント	



6	医療保険についてお書きください																																										
	渡航前に加入した保険																																										
	東京海上日動 海外旅行保険 長期タイプ T2タイプ																																										
	留学先大学にあった医療保険制度																																										
	利用しなかった。																																										
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)																																										
	海水浴中にサンゴにぶつけてアレルギー反応で腫れた膝を大学内の病院で、診察してもらった。診察代は無料で、薬は自費で薬局に行ってきた。																																										
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)																																										
	(現地通貨)																																										
	<table border="0"> <tr> <td>渡航旅費</td> <td>17,875</td> <td>35,750 円</td> </tr> <tr> <td>帰国旅費</td> <td>53,445</td> <td>106,890 円</td> </tr> <tr> <td>引越し(往復で)</td> <td>0</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>保険</td> <td>90,680</td> <td>181,360 円</td> </tr> <tr> <td>語学研修費</td> <td>0</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>留学先学費</td> <td>0</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>本学学費</td> <td>100,000</td> <td>200,000 円</td> </tr> <tr> <td>教材費</td> <td>0</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>住居費</td> <td>20,270</td> <td>40,540 円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td>111,600</td> <td>223,200 円</td> </tr> <tr> <td>その他( 携帯代 )</td> <td>6,255</td> <td>12,510 円</td> </tr> <tr> <td>( 交際費 )</td> <td>32,000</td> <td>64,000 円</td> </tr> <tr> <td>( 通学費 )</td> <td>3,720</td> <td>7,440 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>435,845</td> <td>871,690 円</td> </tr> </table>	渡航旅費	17,875	35,750 円	帰国旅費	53,445	106,890 円	引越し(往復で)	0	0 円	保険	90,680	181,360 円	語学研修費	0	0 円	留学先学費	0	0 円	本学学費	100,000	200,000 円	教材費	0	0 円	住居費	20,270	40,540 円	食費	111,600	223,200 円	その他( 携帯代 )	6,255	12,510 円	( 交際費 )	32,000	64,000 円	( 通学費 )	3,720	7,440 円	合計	435,845	871,690 円
渡航旅費	17,875	35,750 円																																									
帰国旅費	53,445	106,890 円																																									
引越し(往復で)	0	0 円																																									
保険	90,680	181,360 円																																									
語学研修費	0	0 円																																									
留学先学費	0	0 円																																									
本学学費	100,000	200,000 円																																									
教材費	0	0 円																																									
住居費	20,270	40,540 円																																									
食費	111,600	223,200 円																																									
その他( 携帯代 )	6,255	12,510 円																																									
( 交際費 )	32,000	64,000 円																																									
( 通学費 )	3,720	7,440 円																																									
合計	435,845	871,690 円																																									
	換算率 ( 1ペソ = 2 円)																																										
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください																																										
	JASSO海外留学支援制度(協定派遣)																																										
8	留学前の準備について教えてください																																										
	日本から持参すべきもの																																										
	SIMフリースマホ、ノートや筆記用具(フィリピンのは質が良くなかった)、常備薬、パソコン、デビットカード(海外のATMから引き出せるようにしておく)、延長コード、水筒、折り畳み傘、薄手の羽織るもの、意外と現地で何でも調達できるので、問題ない。スマホの設定やキャッシュカードなど、日本でしかできないことはやっておく必要がある。																																										
	留学前にしておけばよかったこと																																										
	日本とフィリピン、日本と韓国など、日本と他国(特にアジア諸国)との歴史について調べておくこと、問題を知っておくこと。まだ解決できていない国家間の歴史問題などをもっと知っておけばよかったと、アジア諸国出身の友達と話しているときに思った。日本の歴史、日本の現代社会の問題についても知っておくとよい。授業中も自分しか日本人がいないと、聞かれることがあり、授業以外でも友達との会話の中で聞かれることがある。また、Facebookとmessengerをインストールしてある程度使い慣れておくこと。フィリピン人学生や一部の先生とのコミュニケーションツールはほとんどFacebookであり、授業や課題の連絡がFacebookやmessengerで来ることも多いため使い慣れてないと、大事な連絡を見逃す可能性もある。アカウントを作っておけば、人脈を広げたり新しい情報を得たり、発信したりするのも便利。																																										

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>学習面:先生が授業や提出物に関する連絡をしてくれない、または連絡が期限ぎりぎりになることがある、急に休講になる、先生が授業に遅れてくる 生活面:フィリピンの時間にルーズな文化、人同士の距離が近い、個人的な質問を仲良くなる前からしてくる、jeep(バスのような乗り物)の種類が分からず使いこなせない、乗り間違える(sakayというアプリは乗り換えが分かり便利、あとは経験で慣れるしかない)、1000ペソ札が使えない店がある(その店に十分なおつりがないため)</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面:英語で考えて発言することへのハードルが下がった。意見を考えて発言するまでのスピードが上がったと感じる。英語で文章を書く機会が多く、書くことにも慣れることができた。また、日本で、受けていた授業やフェアトレードサークルの活動を通して感じていた、途上国開発や貧困に関する疑問の解決の糸口が見つかった。また、途上国や開発に関する自分の固定概念を見直すことができた。フィリピンのリアルな状況をみて、自分には何ができるか、何をすべきかと考え自分の生き方についても今までより広い視野で考えられるようになった。フィリピンの歴史、日本の歴史についての知識が増え、以前より関心をもつようになった。現代社会の問題について、自分にも関係があると認識し、その問題について知ることや考えること、発信すること、行動に移すことの重要性を感じ、無関心ではいけないと感じるようになった。精神面:メンタルが強くなった。アウェーな状況におかれても、すぐ諦めたり心が折れたりすることが減った。そのような状況でも、最善策を考えたり、視点を変えて、問題を乗り越えるために臨機応変に考え、行動できるようになった。違いや多様性に以前より寛容になれた、虫、多少の汚い場所への耐性がついた。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>留学前に4年の第2タームまで終えているため、4年の第3タームから復学する。4年ゼミと英語教員免許取得のための授業を履修予定。4年ゼミは森悠子先生のゼミで、東南アジアにおけるキャッシュレス化について、卒業論文で扱う予定。2021年3月卒業予定。進路はフィリピン以外の国への留学予定。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>行きたい気持ちがあれば行きましょう。行く方法はいくらでもあります。方法や奨学金を探しましょう。必ずしも協定校留学でなくてもいいと思います。自分の目的に合わせた留学の仕方があるので、それを見つけてください。私は留学が本当に楽しかったし、後悔なんて1つもありません。お金では買えない沢山の経験をし、色々な感情を持ちました。それは楽しい経験ばかりではないですが、自分の人生に影響を与える貴重なものでした。また、日本では接点がなかったかもしれない日本人と出会えたこと、様々な国出身の友人、様々なバックグラウンドを持つ友人ができたことは、私の固定概念を壊してくれたし、かけがえのない財産になりました。また、日本の良いところ悪いところ、自分自身の良いところ悪いところを見つめ直すことができました。留学が終わっても、留学でできたひととの繋がりは消えないし、学びは続いています。留学に行っても良かったと思うのは、滞在していた期間にだけ出会いや、発見、学びがあったからではありません。そのあとの自分の人生で確実に続いていくものを帰国してからも感じるからです。多くのひとにこのような経験をしてほしいと思います。私も、よく国際センターに行って、色々な国の留学体験記を読んできました。皆さんもわたしの体験記だけではなく、色々なひとの体験記を読んでみてください。とてもリアリティがあって参考になりますし、モチベーションにもなります。留学を目指す皆さんを応援しています。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>留学に行ってもどう過ごすかは、人それぞれです。フィリピン大学には60人ほど留学生がいましたが、みんなそれぞれの過ごし方をしていました。やりたいことを何でもできます。また、思ったより日本人が多く、留学生全体の50%ほどでした。日本人といることもできるし、外国人と過ごすこともできます。日本以外は、韓国、タイ、中国、フランス、台湾、オーストラリア、インドネシア、メキシコ、ハンガリー、ドイツ、スウェーデンからの留学生がいました。みんな個性があって楽しかったです。話は変わりますが、もし、英語の習得だけを目的とするなら、フィリピン大留学をおすすめしません。100%英語でやる授業は少なく、ほとんど英語で行われる授業でも説明の中でタガログ語がつかわれたり、ディスカッションはタガログ語で行われることがよくありました。英語だけが留学の目的だと、その部分への不満を感じてしまうと思います。(そういう日本人留学生がいました。)もちろんフィリピン大で英語の習得もできますが、それ以外にもフィリピンに行きたい理由、フィリピン大学で学びたい理由がある方は、とても充実した生活ができると思います。フィリピン大学ディリマン校はフィリピン1の優秀な大学で、本当に多くの学部があり、そこで学ぶ学生はとても優秀で、意欲があって、才能に溢れていました。そのようなレベルの高い学生に囲まれて勉強できたことを光栄に思います。また、フィリピン大学の学生は優しく、困っているときは親身になって助けてくれます。とてもいい環境でした。このような機会を与えてくださった津田塾大学の皆さま、国際センターの方々に感謝します。ありがとうございました。</p>

ありがとうございました

写真を数枚添付していただけると幸いです。(キャプションをつけてください。)



Acacia寮の中庭と寮



CD11の授業の様子



大学内で会った子どもたち



寮のロビーで友達のバースデーお祝い



大学のシンボルの建物



大学内の様子、全体は森の中に道路と校舎があるイメージ